

### 3 1 学校施設の防犯対策に関する調査研究

研究代表者 新保 幸一（文教施設研究センター センター長）

#### ①研究の趣旨，ねらい

近年の学校を発生場所とする犯罪件数の増加を背景として、児童生徒等の安全対策を一層徹底させることが求められており、各学校はハードとソフトの両面から、より実効性のある安全対策を積極的に推進する必要がある。本調査研究では、学校施設の防犯対策を促進するため、防犯対策の点検・改善の実情を調査・分析し、各学校が「防犯対策に関する点検・改善マニュアル（以下、マニュアルという）を作成する際の視点や留意事項をとりまとめた。

#### ②研究成果の概要

○平成17年度の文部科学省支援事業として、市町村教育委員会等と学校が連携して作成したマニュアル3事例（東京都武蔵野市、富山県滑川市、群馬大学教育学部）の作成手順や取組内容を分析。

○さらに、全国各地の教育委員会が実施している取組事例を収集・分析し、その結果を基にマニュアルの作成手順と留意事項を以下のように提示。

##### 1) 検討体制の設置

- ・関係者参加による検討体制づくり、建築や防犯の専門家の参画が必要

##### 2) 現状の把握、問題点の抽出

- ・学校施設安全マップを活用し各々の学校毎に問題点を抽出

##### 3) マニュアルの作成

- ・個々の学校の実情に対応したマニュアルの作成が必要
- ・実効性かつ継続性ある点検の実施にはチェックリストの作成が効果的

##### 4) 改善措置の実施

- ・抽出された問題点に対する改善計画の策定と早急な実施が必要
- ・予算措置を要する改善では応急的代替措置やソフト面の対応も必要

##### 5) マニュアルの周知、見直し

- ・関係者へのマニュアルの周知と情報共有が重要、定期的見直しも必要

#### ③中期目標との関連性

○当センターの活動目標の一つである「文教施設を取り巻く社会的動向に対応した基礎的・専門的調査研究の推進」の一環として実施。

○研究成果の普及促進については、平成18年7月に本調査研究の報告書を文部科学省文教施設企画部施設企画課長名で全国の都道府県等に通知し、教育委員会や学校における安全対策の充実に活用。

④今後の研究予定

○学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル作成の取組に関する調査研究（平成19年8月に報告書を公表済）

○地域ぐるみの学校施設の安全点検に関する調査研究（平成19年度実施中）

⑤キーワード

（1）学校施設の防犯対策

（2）点検・改善マニュアル

（3）学校施設安全マップ

（4）マニュアル作成フローチャート

（5）日常点検チェックリスト

（6）定期点検チェックリスト

（7）破れ窓理論

（8）武蔵野市立境南小学校

（9）滑川市立西部小学校

（10）群馬大学教育学部附属小学校

⑥本研究の研究報告書

○学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル作成の取組に関する調査研究報告書（平成18年6月）

⑦関連する先行研究や参考となる研究等

○学校施設の防犯対策について ～ 学校施設の安全管理に関する調査研究報告書（文部科学省、平成14年11月）

○学校施設の防犯対策に関する調査研究報告書  
（（社）日本建築学会、平成16年9月）

○学校施設の防犯対策事例集（当センターにて作成、平成18年2月）